

2022 年度 オンラインワークショップ

仲間と対話し
ヒントを
見つける

身近な生態系を取りこぼさない方法を考える ー生物多様性を受け継ぐ 人と人とのつながりを増やすには？

身近な自然を後世に残していく方法を一緒に考え、実行しませんか？

本オンラインワークショップでは、活動する人々が互いに協力し合うことで、個々のサイトの保全だけでなく、地域全体の生態系保全につながっていく事例や、身近な自然のもつ生態系保全機能を可視化する新しい制度を紹介します。

また、対話形式のグループワークを行い、参加者同士の経験や知識を共有することで、わたしたちが後世に伝えたい生態系を地域で取りこぼさないようにするためのヒントをみつけます。

生態系管理の志を持つ全国の仲間とオンライン上でぜひ交流しましょう。



本ワークショップで
得られる
活動のヒントとなる
知識と体験

- 地域の生態系を守るための協働の事例に学ぶ
- OECM など身近な生態系を守るための新しい制度を知る
- 全国から集まる生態系管理の担い手の経験と熱意に触れる
- 生態系管理に関わる様々な立場の人々との交流

日程： 2023 年 1 月 21 日 (土) 13:30-17:00

会場： オンライン開催 (Zoom を予定)

定員： 40 名 (先着順、定員に達し次第締め切ります。)

参加費： 無料

行政、NPO・NGO、研究者、学生、教員…
どんな立場の方でも大歓迎です！

申込締切

2023 年

1 月 16 日 (月)

詳しくは裏面を
ご覧ください！

主なプログラム：

話題提供 1 生物多様性とくしま会議の展開とその効果

鎌田磨人 (徳島大学大学院社会産業理工学研究部 (理工学域) 教授)

話題提供 2 「自然共生サイト (仮称)」認定の仕組みについて

～身近な生態系を取りこぼさないためにオールジャパンで取り組む～

橋口峻也 (環境省自然環境計画課企画係 係長)

グループワークショップ「身近な生態系を守り受け継ぐ仕組みを考える」

5～6名程度のグループに分かれて、グループファシリテーターの進行でテーマに沿って対話します。
対話を通じて互いの知識と経験を共有し、各々の活動のヒントを持ち帰ります。

申込 URL (google Forms) :
<https://onl.tw/nqXEwYa>



主催：一般社団法人日本生態学会

身近な生態系を取りこぼさない方法を考える —生物多様性を受け継ぐ人と人とのつながりを増やすには？

後世に残したい豊かな自然を保全するためには、生物学の知識だけでは対処できない様々な課題を解決する必要があります。生態系の規模にかかわらず、保全に取り組み人たちは必要な人材、物資、資金をどのように確保・運用するかに苦心し、手探りの状態でもがいています。

生物多様性の保全や活用の目的を達成するためには、空間的に広い範囲で、地道な活動を長期に渡り続けていく必要があります。生態系管理についての目的や知識を共有し、協働していける仲間への存在は特に重要です。近年、身近な自然を保全するために、地域で活動する人々が互いに協力し合うことで、個々のサイトを保全だけでなく、地域全体の生態系保全の仕組みを整える行動につながっていく事例が注目されています。また自然保護区などの制度で守られていなくても、人々の様々な活動を通じて結果として生物多様性の保全が図られている身近な自然の重要性が指摘されるようになってきました。

本オンラインワークショップでは、市民の連携が徳島県の生物多様性地域戦略の策定につながった生物多様性とくしま会議の事例と、身近な自然のもつ生態系保全機能を可視化する制度として整備が進められている環境省の自然共生サイト（仮）の制度について紹介します。また、参加者同士の経験や知識を共有するダイアログ形式のグループセッションを行い、地域で活動する人々の連携を促し、社会制度を使いこなすことでわたしたちが後世に伝えたい生態系を地域で取りこぼさないようにするための方法についてディスカッションします。

生態系管理の志を持つ全国の仲間とオンライン上で交流しませんか？

開催日：2023年1月21日（土） ※オンライン開催

プログラム：

開会あいさつおよび趣旨説明（13:30～）

橋本 佳延

（一般社団法人 日本生態学会 生態系管理専門委員会 幹事／兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員）

話題提供1（13:40～）

生物多様性とくしま会議の展開とその効果

鎌田 磨人（徳島大学大学院社会産業理工学研究部(理工学域) 教授）

話題提供2（14:10～）

「自然共生サイト（仮称）」認定の仕組みについて ～身近な生態系を取りこぼさないためにオールジャパンで取り組む～

橋口 峻也（環境省自然環境計画課企画係 係長）

グループワークショップ（14:55～）

身近な生態系を守り受け継ぐ仕組みを考える

5～6名程度のグループに分かれて、グループファシリテーターの進行でテーマに沿って対話します。対話を通じて互いの知識と経験を共有し、各々の活動のヒントを持ち帰ります。

セッション1（15:10～15:30）

自己紹介（2分×人数）

セッション2（15:30～16:10）

人と人をつなぐ方法を考える

地域の生態系の管理が良好に行われるようにするための、共助の実現方法を考える。

セッション3（16:10～16:40）

活動地を社会制度に位置づける方法を考える

地域で「どの生態系も取りこぼさない」ようにするためにどのような社会制度を使うことが有効かを、互いの知見を持ち寄って考える。



全体共有（16:40～16:55）

グループセッションの全体共有

各グループで話題となった内容を全体で共有し、振り返ります。

閉会挨拶（16:55～17:00）

お申し込み：下記のURLの申込フォームからお申し込み下さい。

申込URL(google Forms)： <https://onl.tw/nqXEwYa>



定員：40名（先着順）

締切：2023年1月16日（月）（定員に達し次第締め切ります。）

お問い合わせ：

一般社団法人 日本生態学会 生態系管理専門委員会

幹事(キャパシティビルディング部会)：橋本佳延
(兵庫県立人と自然の博物館)

TEL & FAX：079-559-2014

E-mail：quercus@hitohaku.jp

当日の連絡先：090-9215-7621

以下【個人情報の取り扱いについて】にご同意頂いた上で、ご記入ください。【個人情報の取り扱いについて】1.申込書にご記入いただいた個人情報は、一般社団法人日本生態学会の「個人情報の取り扱い方針（プライバシーポリシー）」(<https://www.esj.ne.jp/esj/privacy.html>)に従って適切に取り扱います。2. お預かりした個人情報は、本講習会の主催団体で参加者名簿として共有させていただき、本講習会のご連絡や当日の運営（緊急対応時など）を目的として利用させていただきます。3.お預かりした個人情報は、法令等に基づく場合を除き、ご本人の同意なく第三者には提供いたしません。4.申込書の必須項目には必ずご記入ください。ご記入内容に不備がある場合、改めて内容の確認をさせて頂く場合がございます。5.お預かりした個人情報の開示、訂正、利用停止、利用目的通知のご請求、または個人情報に関する苦情の申し出等、その他お問い合わせにつきましては、上記「お問い合わせ」先までご連絡ください。